

各 位

2025 年 11 月 18 日
株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

予約開始から大反響&発売前重版決定！能登復興を支える運送会社の人気猫・ふくの活躍をまとめた『3本足の保護猫ふくは、運送会社の広報部長』が 11 月 18 日発売

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『3本足の保護猫ふくは、運送会社の広報部長 ニャンと社員のあたたかなオフィス』（石黒謙吾／写真・文）を刊行いたしました。本書は、10 月半ばの予約開始直後からオンライン書店でのランキングが急上昇。急遽、初版部数の上乘せが決定いたしました。



Instagramのフォロワー16 万人以上！
人気猫・ふくの魅力が詰まった一冊

石川県を拠点に活動する運送会社、株式会社日章。その公式Instagramで大人気なのが3本足の猫・ふくです。ふくは13歳のメス猫。8年前、運送会社の駐車場で数羽のカラスに囲まれ瀕死状態のところを、仕事終わりのドライバーさんに保護されました。右前脚に大怪我を負っていましたが、ド

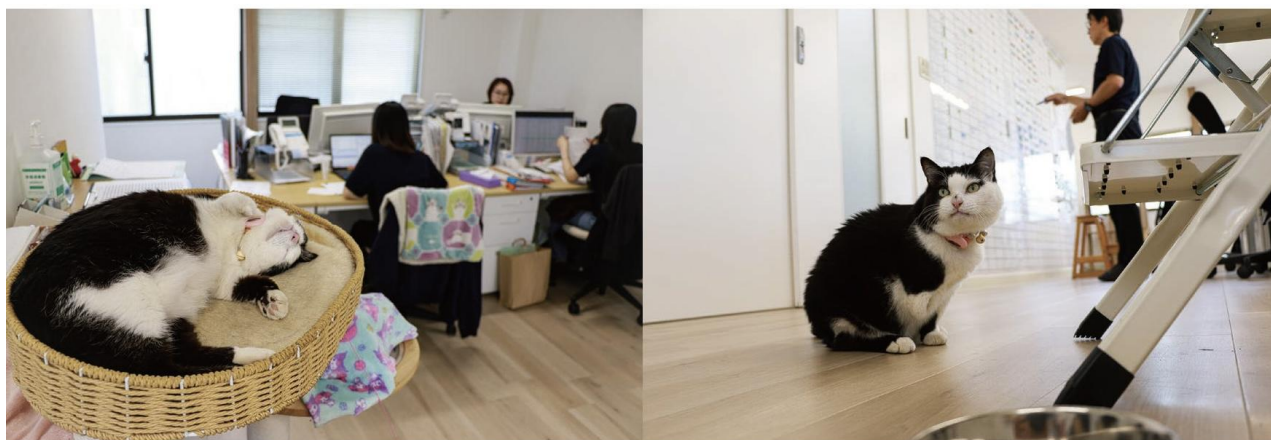
ライバーさんの看病とお世話の甲斐もあって一命を取り留め、その後は社内アイドル的存在に。
「会社に福を呼び込む存在になるように」という願いを込めて「ふく」と名づけられました。

会社の公式Instagramにふくの動画が投稿されると、みるみるうちにフォロワーが増え、2025年11月現在約16万8000人。3本足で元気に走り回る姿や、その自由奔放で愛らしい姿に注目が集まっています。運送会社の社員猫となったふくは、広報部長代理を経て、2024年春には広報部長に昇進しました。

ふくとの出会い、知られざる日常 笑いあり、涙あり、癒しありの感動ストーリー

著者は著述家・編集者の石黒謙吾さん。映画化もされたベストセラー『盲導犬クイールの一生』（文藝春秋／2001年）をはじめ、『犬が看取り、猫がおくる、しあわせのホーム』（光文社／2023年）など、犬や猫関連のたくさんの書籍を執筆・編集・プロデュースしてきました。

あるテレビ番組でふくを知り、自身の出身地でもある石川県の企業のお話でもあったことから縁を感じ、すぐに書籍化へと動き出しました。2024年1月に起きた震災からの復興を目指す能登への思いもあったといいます。本書は、ふくとの出会いや知らせざる秘話が綴られた石黒さんの取材ルポを軸に、Instagramの動画を切り出したコミカルなページや、Instagramでは見られないふくの日常をおさえた撮り下ろし写真を紹介。笑いあり、涙あり、癒しありの充実の一冊となっています。



🐱 ドライバーさんへは最上級の愛を贈ります。



帰社したドライバーの「点呼」にはアイコンタクトでお付き合いだけと……



雪国生活なのでホカホカなヒーターの風は、湘南の風よりも好き。



……密着接待での労いなのか、日報書きを邪魔して遊んでいるのか



眠っている時間でも同棲との触れ合いを大事にして

多岐にわたる業務に厳しさを携えて邁進！



精神的訓練こそ成長だ！新人には教習もしつつイシメの洗礼も浴びせて



夏のお嬢さんにはまわりが子かとも似合います。刺激的ね



エース社員となると、ドライバーへの点呼もこの態度でこなす……



在庫管理もお手のもの。資材部長も兼務ですから

➡
p83から

ゆわーっと、広がる甘み、そんな感覚。何も変わらない光景の中、気が向くとたまにシャッターを切る。彼女なりの気分転換なのか時に階段で寝転ぶ。段差から足だけを落としてすやすや眠る姿がたまらない（P.60）。

深夜になつても玄關マットの上から動かずに寝ていた。かわいいなあと、起こさないように近づいたけど起き上がった。思わず撫で始めると、大きな声でゴロゴロが始まる。そして僕の足にすりすりしたかと思うと、体育座（すうぎざ）をした腿の上に乘ってきた。両手でくるむようにそっと抱きしめる。あたなかい。

星も夜も寂しい。そんな素振りは見せないが、誰もいない時間、やはり孤独は感じているのだろうか。2日間ずつと横にいて見続けたことで、僕に少しは心を許してくれたのか。そう思うと、小学校高学年の2年間、父が夜中に帰るまでをロックという犬と2人で暮らしていた時の感情が蘇り、ふくのがことが最上級に愛おしくなった。

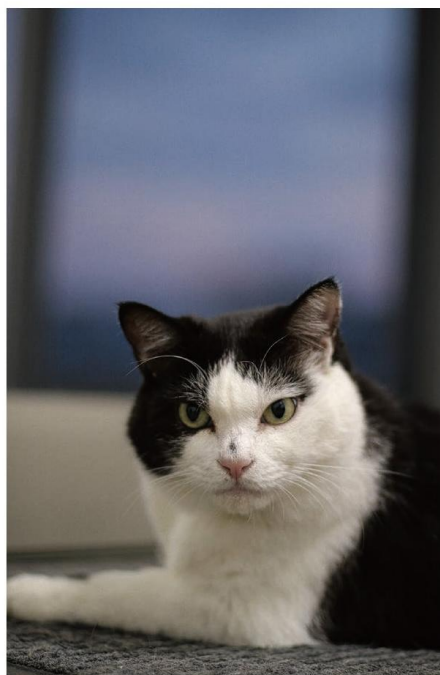
朝が近づく、少し動きが出てくる。ここまで見続けていると、ふく独特の動作に敏感になってきた。たまに玄関マットを爪でガリガリするのは左前脚だけで。また、ググツと頭を下げて背骨びするのもし前脚だけが地面にある。そんな時、右前脚は少し前に出てくるのだから、ふくにとって自然な姿勢だし、物理的身体的に当たり前のことだろうけど、その見慣

れない光景にハッと、心揺さぶられる。それがどういふ感情なのか自分でも明確にできないのだけれど、けっして憐憫れんぴんではなく、敬意けいぎに近い感情なのだろう。

能登復興へのトラックを今日もふくが見送る

4時近く、夜明けが近づいてくる。階段の上のほうにいたふくは下り始め「P61」、玄関ガラス扉前定位へ向かう。そこから外を見ていて、横でシャッター音が聞こえるとスッと振り向く。「P64、65」。猫の目は昼間と違って黒目が大きく丸くなり違った魅力がある。

朝焼けに浮かぶ居並ぶトラックをふくが見ていた時「P80」、一台の自家用車が入ってきた。ふくはヘッドライトを目で追う「P81」。会社が一番乗りしてきたのは、前会長のもちちゃんさん。勇退しているが、朝の「点呼」に週2回ぐらいくるのだとか。最初に出社する人を持っていたのか、マットの上で撫でてもらっているふくは喜び炸裂。「おお、本の撮影だね。徹夜ですか。いいの撮れましたかね?」もちちゃんさんは、当然の儀式のごとくふくを舐りながら、入ってくるシーンを狙って真横でシャッターを切っていた僕に少し驚



【著者プロフィール】

石黒謙吾（著述家・編集者）

1961年 石川県金沢市生まれ 2024年「川島なお美動物愛護賞」を受賞。2023年、NHK「ネコメンタリー 猫も、杓子も。」に出演。「いしかわ観光特使」も。

著書と、プロデュース・編集した300冊近い書籍の中で、犬・猫・動物関連は特に多く、著書では、映画化されたベストセラー『盲導犬クイールの一生』はじめ、『犬が看取り、猫がおくる、しあわせのホーム』『どうして？ 犬を愛するすべての人へ』など17冊。

プロデュース・編集した書籍としては、『世界のアニマルシェルターは、犬や猫を生かす場所だった』（本庄萌）、『あなたの犬を世界でいちばん幸せにする方法』（ザジー・トッド）、『豆柴センパイと捨て猫コウハイ』（石黒由紀子）、『ネコの吸い方』（坂本美雨）、『浮世絵猫、おどる！』（熱海 Muddy Cat）『世界を旅する黒猫ノロ』（平松謙三）など30冊を数える。

【書誌情報】

書名：3本足の保護猫ふくは、運送会社の広報部長 ニャンと社員のあたたかなオフィス

写真・文：石黒謙吾

発売日：2025年11月18日

定価：1,760円（本体1,600円＋税10%）

判型：A5判

ページ数：112ページ

ISBN : 978-4-635-59057-0

<https://www.yamakei.co.jp/products/2825590570.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930 年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：小山内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>